

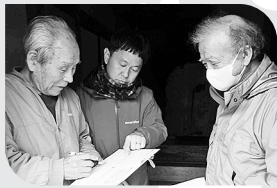


暮らしにも 政治にも 春を!

2月18日から3月2日まで、大平よしのぶ元衆議院議員を先頭に「500万要求対話で暮らしと政治に春を呼びこむ中国ブロックキャラバン」(春こいキャラバン)を実施。期間中、中国地方18自治体にかけつけ、600人を超える方たちと対話し、約60人が大平LINE公式に登録。各地で党员や民青同盟員も増えました。



日曜日の公園でママ・パパから子育ての実態を伺う(2月23日、岡山市北区)



訪問し玄関先でアンケート。首相の地元でも次々と自民党政治への怒りが(2月28日、鳥取県岩美町)



春こいキャラバン



進路、平和、気候危機打開…受験生から次々と願いや目標が語られた(2月25日、下関市)



広島・福山で200人を超える若者らが声を寄せてくれた(2月18日、広島市中区)



40代女性から「共産党は原発に正面から反対しているのがよい、がんばって」と激励(3月1日、松江駅前)

「家でお母さんに『お米の値段が高くなったからしばらく夜ごはんのおかわりは禁止』と言われた」(広島・小学3年生)、「学費とともに祖父の介護施設への入所費用の一部を自分も出している。奨学金を利用しバイトを週2回から5回に増やした」(岡山・私立大1年)、「報酬引き下げ、燃料代高騰で訪問先まで車で行くところを自転車で行っている」(山口・訪問介護事業)——

物価高騰や高学費、社会保障の切り捨てが暮らしに深刻な打撃を与えています。それだけに「軍事費削って教育・社会保障に」「大企業・富裕層への課税強化で賃上げ・消費税減税を」という、日本共産党ならではの提案がとても響きあい、支持と共感が広がりました。

中国地方の軍事拠点化許すな——呉・岩国調査

2月20日、山添拓・仁比聡平両参議院議員による呉市の日鉄跡地に狙われる一大軍事拠点計画の調査に白川よう子氏、高見あつみ参院広島選挙区予定候補とともに大平氏も同行。地元市議らの案内で現地を視察した後、防衛省の説明を受けましたが、こちらの質問には「検討



中」と内容はほとんど答えず。「このまま住民に説明なく計画を進めることなどありえない」と怒りの声があがりました。その後、米軍岩国基地のある山口県岩国市で運動する市民、党議員団と懇談し、基地強化や騒音被害などの実情を聞きました。

